

メタセコイア

(土屋中学校の樹)

＜学校教育目標＞

～ 夢に向かって ～

第5号

令和 7年 7月 18日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

Tel 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

『パスワード』

校長 小熊 誠

今日で70日間の1学期が終了です。保護者・地域の皆様のおかげ様をもちまして大きな事故もなく、本日を迎えることができました。ありがとうございました。明日から39日間の夏休み、「土屋夏の陣」第四幕開幕です。生徒たちが、学校の主役から地域の主役へと、大事な一步を踏み出すチャンスでもあります。どうぞより一層の御理解と御協力、そして温かい御支援をよろしくお願いいたします。

さて、「土屋夏の陣」第三幕「修学旅行」行って参りました。目まぐるしく変わる天候の中、生徒たちは、誰一人途中で欠けることなく、笑顔で元気に土屋中に戻ってくることができました。そして、スローガン通り、京都・奈良に土屋中の真っ赤な「3つの陽」を灯してきてくれました。土屋中の自慢の顔に、さらに自信と経験が刻まれ、輝きが増してきました。素晴らしい3日間でした。

そして、いよいよ生徒たちは、土屋の全てのことを自分事として捉え、皆が大好きな学校に進化させていくために、自ら「心染色“こんぱす”」という組織を立ち上げました。この名前は「生徒皆の心を新たな色に染め、皆が土屋中を大好きになるために同じ方向を向いて進んで行こう」という思いを込め生徒たちが命名しました。まさに「生徒の 生徒による 生徒のための学校」の開幕です。今後、土屋中がどんな進化を「メガ進化」を遂げていくのか楽しみにしててください。

今号では、この夏の宿題となっているSNSのルールについてお話します。どうぞこの夏、御家庭でじっくり話し合ってみてください。例えば携帯電話です。有効に活用すればとても便利です。しかし、危険なトゲも潜んでいます。ちなみに私の家では、息子に小1の頃から携帯(キッズ携帯)を与えていました。カミさんと私は同業者のため、息子は登下校時いつも一人でした。登校時息子は、携帯で「行ってくるね。」と私たちに連絡し、一人で玄関を締め、ポストに携帯を入れて行きます。下校時は、ポストから携帯を取り、玄関を開け「帰ってきたよ。楽しかったよ。」と連絡してきます。時には、「楽しかったよ。」が無い時もありました。それは何かあったときの合図でした。私たち家族にとって携帯は無くってはならないコミュニケーションの大事な一部だったのです。だから私たち家族3人の携帯電話の『パスワード』は一緒です。これが私たち家族のルールです。すなわち誰でも、いつでも、誰の携帯電話を見たり、使ったりすることが可能です。息子は今高3ですが、今まで何も言わずにきていました。ところが、今年の3月、息子がもう一つアカウントを持っていることが発覚しました。昨年の夏休みに作ったそうです。私もカミさんもショックでした。しかし、秘密を持つことは大人になっていく証でもあると思っています。別アカウントは削除せず、共通のパスワードも変えずに、自覚と責任のある使い方をするよう話合いました。息子は、私がイロイロな所で、知らないうちに写メを映され、勝手にX等にアップされ、拡散され、イヤな思いをしていることを、十分知っています。だから、「自分は、許可なく、人の写真はアップしない」とは言っています。ただ、これは本当に難しい問題です。行事や、旅行等、何かの記念に写真を撮ったら、誰かが映り込む可能性が大了。その記念写真を誰かに送る際、映り込んだ人全部に確認をとることは、まず不可能です。だから、私は校長になったとき、フェイスブックを止めました。まして、誰かを映して、それを許可なく、誰かに送ることは、本当に許されることなののでしょうか？しかし、実際には今、普通に行われていることなのかもしれません。皆が気持ちよく、便利に暮らしていくために、これから大事なことは、何がダメで、何が必要で、何から始めればいいのかを、生徒たちを含め、じっくりと考え、話合いを続けることだと思います。これは学校だけではとても結論のお話しではありません。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、8月27日(水)始業式、生徒たちが、一人もかけることなく、さらに輝きをました笑顔で登校してくることを楽しみにしています。皆様、良い夏休みをお迎えください。



希望の登校

笑顔の活動

満足の下校